※令和５年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習（後期）	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書	詳説日本史探究　（山川出版社）						
副教材等	問題集等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本史探求の日本史の流れを、問題を通じて、復習する。
・周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や日本と諸外国の関係にも着眼する。
・現代の諸課題を、歴史と結び付け、歴史的観点から考察する。
・設問を通じて、より深く歴史を探究する姿勢を持つ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本史の時代の流れを、問題を通じて、日本史の全体像を理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代の諸課題を、歴史と結び付け、歴史的観点から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や日本と諸外国の関係に、問いを通じて目を向ける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本史の時代の流れと時代の転換をとらえ、設問に答えることができている。 ・周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や日本と諸外国の関係に目を向けて、設問に答えることができている。	・日本史の時代の流れと時代の転換を、様々な資料やデータから考察し、設問に答えることができている。 ・周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や日本と諸外国の関係に目を向けて、国際的視野で設問に答えることができている。 ・現代の諸課題を、歴史と結び付け、歴史的観点から考察し、文章で表現することができている。	・歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、資料や図版などの情報を集め、整理し、活用したうえで設問に答えることができている。 ・「なぜ」に対する仮説を立て、その検証を通じてより深く歴史を探究し、説明することができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和５年度以降入学生用

４　学習の活動（後期）

単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
原始・古代	1. 日本のあけぼの 2. 古墳とヤマトの政権 3. 律令国家の形成 4. 貴族政治の展開	a:原始・古代の流れと時代の転換をとらえ、全体像を理解した上で設問に答えることができる。また、周辺地域の歴史や日本との関係の設問にも答えることができる。 b: 時代の流れと時代の転換を、様々な資料やデータから考察し、文章で答えることができる。周辺地域の歴史や日本との関係に着目し、設問に答えることができる。 c:古代社会と海外との交流を、文字資料だけでなく、各地の様々な出土品を調べて探究・発表することができる。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。提出物で評価。
中世	5. 院政と武士の躍進 6. 武家政権の成立 7. 武家社会の成長	a:中世の流れと時代の転換をとらえ、全体像を理解した上で設問に答えることができる。また、周辺地域の歴史や日本との関係の設問にも答えることができる。 b: 時代の流れと時代の転換を、様々な資料やデータから考察し、文章で答えることができる。周辺地域の歴史や日本との関係に着目し、設問に答えることができる。 c:中世社会を、絵巻などの様々な絵画から調べて探究・発表することができる。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。提出物で評価。
近世・近代	8. 近世の幕開け 9. 幕藩体制の成立と展開 10. 幕藩体制の動揺 11. 近世から近代へ 12. 近代国家の成立 13. 近代国家の展開 14. 近代の産業と生活	a:近世から近代への流れと時代の転換をとらえ、全体像を理解した上で設問に答えることができる。また、周辺地域の歴史や日本との関係の設問にも答えることができる。 b: 時代の流れと時代の転換を、様々な資料やデータから考察し、文章で答えることができる。周辺地域の歴史や日本との関係に着目し、設問に答えることができる。 c:世界との関係における日本の近世・近代の特徴を、貿易の変遷を示す資料を集めて探究・発表することができる。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。提出物で評価。

※令和５年度以降入学生用

現代	15. 恐慌と第二次世界大戦 16. 占領下の日本 17. 高度成長の時代 18. 激動する世界と日本	a:戦前から戦後への流れと時代の転換をとらえ、全体像を理解した上で設問に答えることができる。また、周辺地域の歴史や日本との関係の設問にも答えることができる。 b: 時代の流れと時代の転換を、様々な資料やデータから考察し、文章で答えることができる。周辺地域の歴史や日本との関係に着目し、設問に答えることができる。 c:歴史総合の学びも踏まえ、「集団と個人」「世界の中の日本」「伝統や文化の継承と創造」など、自分の関心に応じたテーマを設定し、探究・発表することができる。	小テスト、定期テストで評価。	発問に対するグループ討議で評価。定期テストの記述問題で評価。	グーグルスライドを使ったレポートと発表で評価。提出物で評価。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度